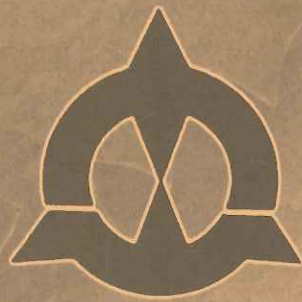


The background of the cover features two large, dark brown silhouettes of dinosaurs. The upper silhouette is a Tyrannosaurus Rex, shown in profile facing left with its mouth open, revealing sharp teeth. The lower silhouette is a Stegosaurus, shown in profile facing left, with its characteristic bony plates and tail spikes. The text is overlaid on these silhouettes.

勝山市のすかいた

平成11年



勝 山 市

は し が き

ここに平成11年版「勝山市のすがた」を刊行いたします。

この統計書は、勝山市の人口、産業、教育、福祉など市民生活の各分野にわたる基本的な統計資料を総合的かつ系統的に収録いたしました。本書が各方面において広く利用され、市勢の動向の的確な把握と、現状の正しい認識に役立つことができれば幸いです。

編集にあたりましては、内容の整備に努めましたが、なお不備な点があるろうかと思えます。今後とも各方面からご指導をいただき、より一層内容の充実を図ってまいりたいと存じます。

最後に、本書の刊行にあたり貴重な資料の提供ならびにご協力をいただきました関係各位に対し厚くお礼申し上げます。

平成11年 9 月

勝山市長 今 井 三右衛門

凡 例

1. 本書は勝山市に関する市勢の各般にわたる基礎的な統計資料を収録したものです。
2. 本書は平成9年、または、平成9年度の統計資料を主として収録し、比較対照の便を考慮して過去の資料も合わせて掲載してあります。
3. 資料は官公庁、団体、会社および市役所内各課などからの提供・報告または企画課においては統計資料から直接収集したものです。
4. 資料の出所名は各表の右下に掲げ、年次、年度、表中の数字の単位は表の右上に掲げましたが、一見して明らかなものは省略してあります。
5. 数字の単位未満は四捨五入したので、合計の数字と内訳の計が一致しない場合があります。
6. 統計表中「年次」とあるのは年間（1月～12月）、「年度」とあるのは年度間（4月～翌3月）を示しています。
7. 統計表中の符号の用途は次のとおりです。
 - 「－」… 皆無または該当数字なし
 - 「…」… 不詳
 - 「X」… 1または2の事業所に属する数を秘匿としたもの
 - 「△」… 減少
8. 本書に収録した統計資料について、さらに詳細な数字が必要な場合、あるいは疑義のある場合には、各表ごとにある各資料出所機関、または、企画課に照会してください。

目 次

1. 市制施行及び市章の説明	1	25. 市職員数	23
★自 然	1	26. 最近の選挙投票状況	24
2. 地 勢	1	27. 地区別基本選挙人名簿登録者数	24
3. 位 置	1	28. 議会活動状況	26
4. 土 地	1	29. 請願陳情処理状況	26
5. 沿 革	2	30. 歴代の市議会議長と副議長	27
6. 面 積	3	31. 市議会議員	27
★歴 史	4	★財 政	28
7. 勝山市の歴史	4	32. 平成11年度一般会計予算	28
★市民生活	12	33. 平成10年度一般会計歳入歳出決算	28
★気 象	14	34. 平成11年度特別会計予算	29
8. 気象の概況	14	35. 平成10年度特別会計決算	29
9. 過去の気象最高(低)記録	15	36. 平成10年度市税負担状況	30
10. 寒候期年別最深積雪	15	37. 市税の納税者数	30
11. 月別平均気温・降水量の準平年値	15	38. 市有財産の状況	30
★世帯と人口	16	★教育文化	31
12. 世帯数と人口	16	39. 教育委員	31
13. 地区別世帯数及び人口	17	40. 教育委員会事務局機構	31
14. 人口動態(過去10カ年)	17	41. 学校別児童生徒数	31
15. 人口動態の推移	18	42. 中学校卒業生状況	32
16. 年令別(5歳階級)人口	19	43. 学校(教職員・生徒児童数)	32
17. 産業分類別・従業上の地位別就業者	20	44. 高等学校卒業生状況	32
18. 人口集中地区〔D I D〕	20	45. 幼稚園の幼児数・教職員数等	33
19. 通勤・通学別流出人口〔15歳以上〕	21	46. 幼稚園年令別幼児数	33
20. 通勤・通学別流入人口〔15歳以上〕	21	47. 公 民 館	33
21. 昼間人口	21	48. 市立図書館	33
★行 政	22	49. 勝山市の文化財	34
22. 歴代市長	22	50. 勝山市の文化財分布図	36
23. 歴代助役	22	★農 業	37
24. 歴代収入役	23	51. 農家戸数と人口	37
		52. 農家人口と就業状態	37
		53. 家畜飼養農家と家畜、家きん、頭羽数	37
		54. 3類1等裸米政府売渡価格の推移	37

55. 年次別産米売渡額	38
56. 専業・兼業農家数の推移	38
57. 経営耕地面積	38
58. 経営耕地面積別農家数の推移	38
59. 地区別農産物販売別農家数	39
60. 地区別農用機械所有台数	39
61. 地区別農業の状態	40
62. 作物別収穫(栽培)面積	40
63. 圃場整備事業	41
64. 農村集落排水事業	42

★林業

65. 保有山林面積規模別農林家数	43
66. 林野総面積	43
67. 造林伐採面積	43
68. 地区別山林面積	44
69. 林産物	44

★事業所

70. 産業分類別事業所数・従業者数の推移 (民営+公営)	45
71. 規模別産業大分類別事業所数及び従業者数	45
72. 市別経営組織別事業所数及び 従業上の地位別従業者数	46
73. 産業別就業人口	48

★工業

74. 最近10年の工業の推移	50
75. 産業分類別工業の概況	50
76. 市町村別繊維産業製造品出荷額等	51
77. 繊維産業業種別企業分布状況	52
78. 県内規模別設備状況	54
(A) 広幅織物設備	54
(B) 撚糸設備	54
(C) 仮より設備	56

★商業

79. 商業の実態	57
-----------	----

80. 従業者規模別商店数	57
81. 従業者規模別飲食店数	57
82. 県下7市の産業の概況	58

★市民所得

83. 勝山市の概況	60
84. 1人当りの市(県・国)民所得	60
85. 関連指標	60
86. 平成7年度主要項目別分配所得	61
87. 産業別市内純生産	61

★社会

88. 生活保護の状況	62
89. 市営住宅	62
90. 年次別共同募金高	62
91. 歳末たすけあい配分状況	63
92. 年次別共同募金配分状況	63
93. 心配ごと相談	63
94. 市社協結婚相談	63
95. 国民年金加入状況	63
96. 国民年金(拠出)受給状況	63
97. 国民年金(福祉)受給状況	64
98. 教育福祉会館の施設	64
99. 教育福祉会館利用状況	64
100. 市民会館の施設	65
101. 市民会館利用状況	65
102. 保育園の状況	66
103. 児童センターの状況	66
104. 老人の実態	68
105. ヘルパー数の推移	69
106. 在宅福祉利用状況	69

★保健衛生

107. 国民健康保険加入状況	70
108. 国民健康保険税収納状況	70
109. 国民健康保険税負担額及び給付費用状況	70
110. 国民健康保険加入者1人当りの医療費と保険税	71
111. 環境衛生施設数	71

112. 医療関係施設	71	143. 橋梁の状況	85
113. 健康診査受診状況	72	144. 普通世帯住居の種類・住宅の 所有関係別住居の状況	85
114. 医療関係者	72	★都市計画	86
115. 予防接種の状況	72	145. 都市計画用途地域	86
116. 死因別死亡者数	73	146. 防火地域	86
117. 国民健康保険病類別疾病	73	147. 都市計画道路	86
118. ごみ処理状況	74	148. 都市公園	87
119. 資源化物回収状況	74	149. 土地区画整理事業	87
120. 人口・世帯別ごみ排出量	74	★上水道	88
121. 合併処理浄化槽設置整備状況	75	150. 水道普及状況	88
★警察・消防	76	151. 水道給水状況	88
122. 刑法犯罪の発生・検挙の状況	76	★下水道	89
123. 交通事故	76	152. 下水道計画概要	89
124. 月別交通事故発生状況(人身事故)	76	153. 下水道整備普及状況	89
125. 運転者年令別交通事故 発生状況(人身事故)	77	154. 浄化センター施設の概要	90
126. 消防機構	77	★労働	91
127. 消防職員の現勢及び配置	77	155. 一般職業紹介状況	91
128. 無線通信施設(超短波)	78	156. 雇用保険給付状況	91
129. 消防団員の現況及び配置	78	157. シルバー人材センター事業状況	91
130. 救急救助用器具保有数	78	★運輸・通信	92
131. 消防車両等の保有数	79	158. 自動車保有台数	92
132. 消防水利現況	79	159. 郵便局及びその他の施設	92
133. 火災件数(過去5カ年)	79	160. 年賀郵便物取扱状況	92
134. 救急出場件数(過去5カ年)	79	161. 郵便物取扱状況	93
★生活環境	80	★特産物	93
135. 交通災害共済年度別状況	80	162. 勝山市の主な特産物	93
136. 交通安全施設の状況	80	★観光	94
137. 公害発生施設届出状況	81	163. 私鉄主要駅乗降客状況	94
★建設	83	164. 観光地月別入込状況調査	96
138. 道路の状況	83	165. 観光地入込観光客調査	96
139. 国道整備状況	83		
140. 主要地方道整備状況	83		
141. 一般県道整備状況	84		
142. 市道整備状況	84		

166.	観光客入込と消費額状況	98
167.	東山いこいの森利用状況	98
168.	雁が原青少年旅行村利用状況	99
169.	海洋センター利用状況	100
170.	勤労青少年体育センター利用状況	100
171.	林業者トレーニングセンター利用状況	100
172.	市営体育館利用状況	100
173.	勤労婦人センター利用状況	101
174.	勝山温泉センター“水芭蕉”利用状況	101
175.	市内観光案内図	102
★	その他	104
	主な官公庁・機関等	104
	勝山市行政機構図	107

1. 市制施行及び市章の説明

市制施行……昭和29年9月1日

勝山町、平泉寺村、村岡村、北谷村、野向村、荒土村、北郷村、鹿谷村、遅羽村の1町8カ村が合併。

市章の説明



福井、大野、金沢の三方面への発展を三角の各頂点であらわし、丸は和合、三角はどっしりとした安定性を意味し、三角と丸を組み合わせるとしての将来の発展を意味する。

1. 市制施行及び市章の説明

市制施行……昭和29年9月1日

勝山町、平泉寺村、村岡村、北谷村、野向村、荒土村、北郷村、鹿谷村、遅羽村の1町8カ村が合併。

市章の説明



福井、大野、金沢の三方面への発展を三角の各頂点であらわし、丸は和合、三角はどっしりとした安定性を意味し、三角と丸を組み合わせて勝山市としての将来の発展を意味する。

自然

2. 地 勢

勝山市は、福井県の東北部に位置し、市の中心は福井市の東方約28kmの地点にあり、東南は大野市、西南、南は吉田、坂井、足羽の三郡に、北は石川県に隣接し、市の周辺は大小の山々に囲まれ、その中心部を東南より西北にかけて流れる県下最大河川である九頭竜川の中流に位置し、その流域は勝山盆地を形成しており、市の中心地は商工業の発達した地域となり、繊維工業と農業を基幹産業とする水とみどりの豊かな田園都市である。

3. 位 置

東 経	北 緯	標 高		面 積	長 さ	
		最 高	最 低		東 西	南 北
136°23'34"	36°0'13"	1,671 ^m	75 ^m	253.68 ^{km²}	23.3 ^{km}	17.0 ^{km}
136°39'44"	36°9'17"					

4. 土 地 (地目別面積)

各年1月1日現在 (単位: Km²)

区 分	合 計	田	畑	宅 地	山 林	原 野	牧場その他
7年	116.05	20.29	1.90	5.24	83.44	3.30	1.88
8年	115.87	19.90	1.59	5.44	83.79	3.21	1.94
9年	115.72	19.76	1.54	5.41	83.82	3.19	2.00
10年	115.15	19.63	1.53	5.43	83.41	3.14	2.01
11年	114.53	19.51	1.50	5.44	82.92	3.13	2.03

資料:税務課調 (課税分のみ)

5. 沿 革

本市には、古く縄文時代から九頭竜川の両河岸段丘に人が住んでいたことが、点在する遺跡によって明らかである。

奈良時代、泰澄により白山中宮平泉寺が開かれたと伝えられ、白山信仰の一大拠点として全盛時は48社36堂6千坊を誇り、商工業が繁栄し、また、文化も大いに高まり、越前文化の中心的存在として栄えたが、一向宗徒の焼き打ちにより一夜にしてその栄華を失った。

その後、柴田勝安氏が一揆を鎮め、袋田村に勝山（袋田）城を築きこれを統治した。勝山の地名は一揆の勝利へ導いた御立山（通称村岡山）を“勝ち山”と呼んだことから起こったといわれ、その後領主は交代するが、勝山三町（袋田町、後町、郡町）が形成されていった。

元禄4年、小笠原氏が入封、明治に至るまで藩政が続いた。廃藩置県後機業がぼっ興し、羽二重を中心とする絹織物の製造が盛んになり、さらに昭和初期には人絹織物の導入によって織物立国を形成した。戦後は、設備の近代化、技術革新により高級合繊織物の一大産地として国内外に知られている。

一方、行政の組織は明治の市制町村制により、現市域内に、1町9カ村が誕生、その後猪野瀬村が勝山町に編入合併され、昭和29年9月1日町村合併法により、勝山町、平泉寺村、村岡村、北谷村、野向村、荒土村、北郷村、鹿谷村、遅羽村の1町8カ村が合併し市制を施行、人口39,043人の勝山市が発足した。

以後、行政の充実、市民の努力によって順調に近代都市化が進展してきているものの、人口は高度経済成長による大都市集中化により次第に減少し、平成7年の国勢調査人口は29,162人となっている。

一方で本市を訪れる観光客は着実に増えてきている。国史跡の白山平泉寺や雁が原スキー場、左義長まつりに年の市といった従来からの観光資源に加え、昭和62年に越前大仏が落慶、平成4年には越前勝山城博物館が開館。さらに、平成5年には法恩寺山リゾート開発計画の中核であるスキー場・スキージャンプ勝山がオープンし、市全体の平成9年の観光入込客は150万人を超えるに至っている。

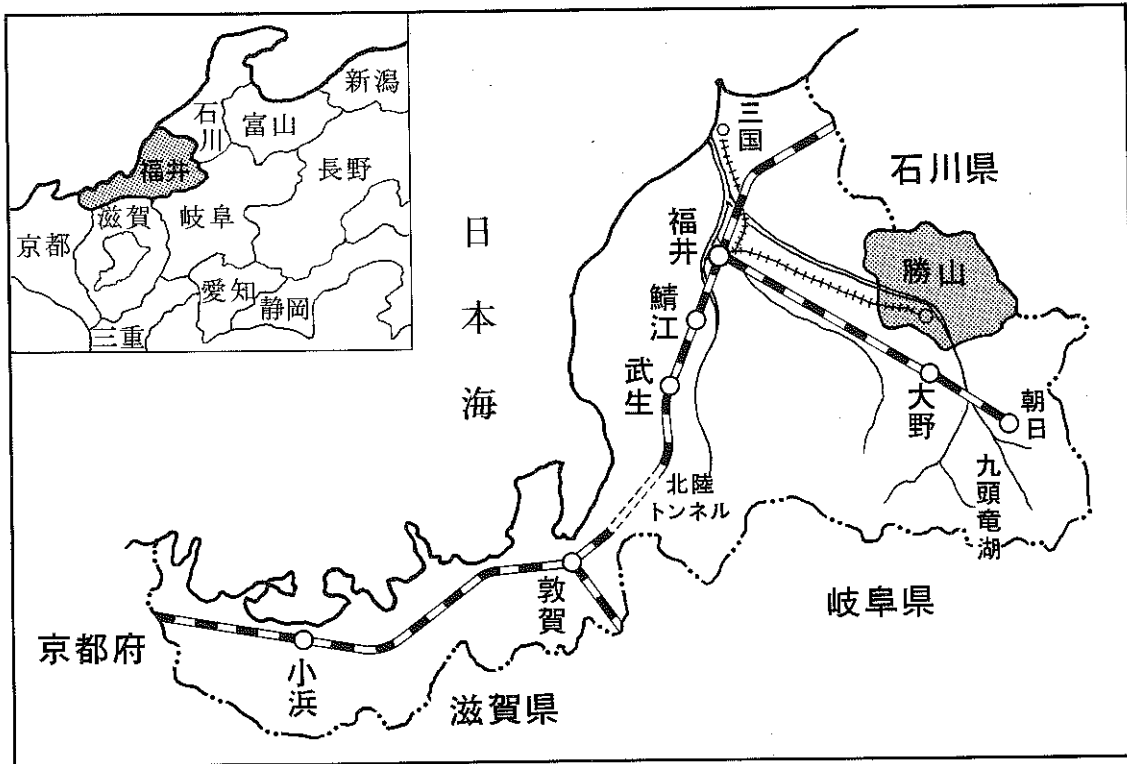
市制40周年を迎えた平成6年にはリゾート先進地である米国コロラド州アスペン市との友好都市提携を結び、市民レベルの相互交流を進めるとともに、友好都市の契機ともなったアスペン音楽祭も定着してきている。

平成9年に白山平泉寺の国史跡指定区域が200haに拡大され、今後の中世宗教都市の発掘整備に期待がかかるとともに、法恩寺山リゾート開発計画の今後の進展、さらには昭和57年の発掘以来全国有数の恐竜化石の産地となっていることから、平成12年に県立恐竜博物館の開館、開館記念イベント・恐竜エキスポふくい2000の開催などにより観光客の大幅な増加が見込まれる。

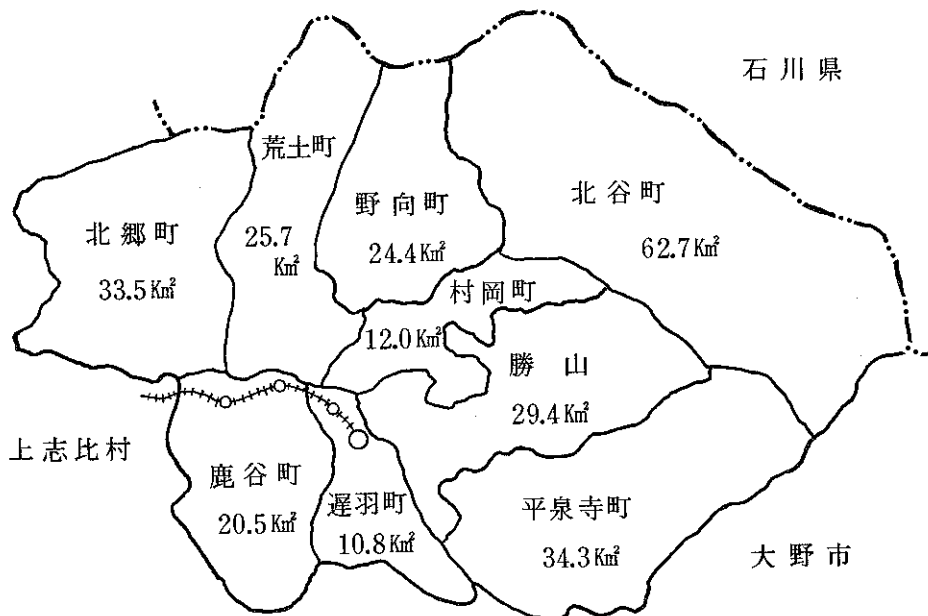
観光需要に対応した農林産物や繊維製品の特産品・新商品の開発、加えて中部縦貫自動車道など交通インフラの整備促進に期待が寄せられている。

このように地域特性を広くアピールし、幅広い交流と人づくりを進めるなかで「21世紀へ躍進、自然と歴史、ふれあいの里・勝山」をめざし活気に満ちた勝山市の実現のため着実な進展が図られてきている。

位 置



6. 面 積 (253.68Km²)



歴史

7. 勝山市の歴史

西 暦	年 号	主 な 出 来 事
紀元前1万年頃	旧石器～ 縄文時代草創期	日本では土を焼いて器を作り始めた頃で、平泉寺町赤尾地区の池から発見された槍先形尖頭器は、動物を捕獲するための槍の先に付けられた石器である 勝山市内最古の加工品
紀元前5000年頃	縄文時代早期	滝波地区破入・壁倉地区幕根・嶗崎地区三室・暮見地区古宮などの各遺跡が形成される
紀元前2500年頃	縄文時代中期	三室遺跡や滝波遺跡付近に縄文集落が形成される
紀元前1500年頃	縄文時代後期	鹿谷町本郷遺跡や北郷町上野遺跡が形成される
紀元前 500年頃	縄文時代晩期	猪野口地区大島田遺跡や北郷町志比原遺跡が形成される
紀元前 100年頃	弥生時代	鹿谷町発坂や北郷町森川周辺の段丘上に弥生集落が形成される
300～500年頃	古墳時代	荒土町別所や平泉寺町大渡、鹿谷町発坂、西光寺など集落を見下ろす山の尾根上に有力な人々の古墳がつくられる
717	養老元年	泰澄大師が平泉寺を開いたと伝えられる
930年頃	承平年間	古文書に猪野毛屋付近をさすと思われる「毛屋郷」の名が現れる
1084	応徳元年	平泉寺、比叡山延暦寺末となり、勢力を拡大する
1341	興国2年	新田義貞の部将、畑時能は伊知地の鷲ヶ岳城にて戦死する
1524	大永4年	平泉寺祭礼に際し流鏝馬の神事がおこなわれる
1539	天文8年	平泉寺賢聖院、約500石の領地を朝倉氏より認められる
1574	天正2年	平泉寺、一向一揆により全山焼失する
1575	3年	柴田義宣が七山家の一揆平定のため差し向けられる
1577	5年	柴田義宣は討死、養子勝安が一揆平定に当たる
1580	8年	柴田勝安は村岡山より袋田村に移り、現在の市民会館の地に勝山城築城
1583	11年	勝安は賤ヶ岳で討死、その後丹波長秀の重臣成田重政が勝山城に入る 太閤検地始まる
1601	慶長6年	福井藩領となり、家臣林長門が勝山城代となる
1615	元和元年	勝山城は一国一城令により、取り毀されたとみられる
1624	寛永元年	秀康の5男松平直基が三万石を領し勝山藩主となる
1635	12年	秀康の6男松平直良が勝山藩三万五千石を治める
1644	正保元年	福井藩預かり地となり、瓦門番が交代で治める
1686	貞享3年	福井藩減封で、幕府直轄領となって勝山陣屋が置かれ、三人の代官が配置される
1691	元禄4年	勝山藩主（2万2,777石）として小笠原貞信、美濃高須より移封

西 暦	年 号	主 な 出 来 事
1702	元禄15年	九頭竜川氾濫して堤防決壊、田畑家屋流出し長淵は一面川原となる
1706	宝永3年	九頭竜川堤防復旧工事完成
1708	5年	二代信辰、勝山城主を命じられる
1709	6年	幕府より築城の奉書が出され、築城に取り掛るが本丸のみ完成（再建）
1715	正徳5年	後町より出火、寺院3・町屋120軒焼失
1721	享保6年	再び九頭竜川氾濫
1726	11年	女神川氾濫、猪野口村全滅（58軒中の48軒流出、死者75人）
1746	延享3年	城下に大火発生、郡町から出火、袋田町・後町・武家屋敷に延焼、全町630軒のうち458軒焼失
1771	明和8年	五代信房築城を再開、二ノ丸土居と堀を築き、ここに居館を移す 財政建て直しのため税制の改正を始めたので、領内に百姓一揆が起こり、これを中止する
1781	安永10年	城下に大火発生、民家582軒、武家80軒余焼失
1782	天明2年	町火消しが組織される（袋田町・後町・郡町火消組3組）
1783	3年	当時戸数2,868軒、人口11,561人
1793	寛政5年	六代長教、二ノ丸櫓台、三ノ丸土居と堀を築く
1799	11年	城下に大火発生、郡町128軒、後町155軒、尊光寺など11ヶ寺焼失
1822	文政5年	勝山城御殿より出火、門・土蔵・高塀を残して全焼
1823	6年	勝山城は町・郷からの見舞金で復興、瓦と桧皮葺の御殿ができる
1826	9年	七代長貴築城再開、北側の塀を掘り、東の土居、櫓台を築き二ノ丸完成
1833	天保4年	天保2年に続く大凶作に見舞われる
1836	7年	大飢饉2年続き、城下に打ち壊し、貧民・死者が続出した
1841	12年	泰魯斎の進言と家老林毛川の努力により、読書堂（翌々年成器堂と改称） が建てられる
1842	13年	長淵大火、後町7軒・長淵町81軒焼失、滝波村85軒類焼
1848	嘉永元年	長山鉄砲場に講武台を築き始める（7年後の安政2年に完成）
1850	3年	勝山藩、はじめて大砲を鑄造
1853	6年	勝山藩「煙草改会所」を設ける
1857	安政4年	勝山藩「煙草改会所」を「産物改会所」と改称する
1869	明治2年	小笠原長守 勝山藩知事に任命される
1871	4年	勝山県を廃し福井県となる 福井県を廃し足羽県となる
1872	5年	勝山郵便取扱所創立 学制発布により成器小学校をはじめ明治15年には28の小学校が創設された 区制改正全町村17大区になる
1873	6年	足羽県を廃し、越前・若狭を合わせて敦賀県となる

西 曆	年 号	主 な 出 来 事
1876	明治9年	敦賀県を廃し石川県26大区に所属 勝山製糸会社（三の丸製糸）創立
1878	11年	大小区を廃し郡に郡長、町村に戸長が置かれる
1881	14年	石川、滋賀の2県より若越11郡を分離して福井県となる 大野警察署勝山分署ができる
1888	21年	製糸業大いに興り、製品を海外に輸出する
1889	22年	町村制実施され勝山町、猪野瀬村、平泉寺村、村岡村、野向村、北谷村、遅羽村、荒土村、北郷村、鹿谷村（1町9カ村）となる
1896	29年	勝山大火、立石町より出火、町屋1,200余軒・寺18ヶ寺焼失（全戸数の80%）
1897	30年	勝山葉タバコ専売所開設する
1904	37年	勝山～福井間に乗合馬車開通する
1911	44年	勝山町電話開通する
1912	大正元年	下荒井に簡単な鉄線懸木造つり橋が架けられる
1914	3年	福井～勝山～大野間電車開通する（越前電気鉄道創設）
1915	4年	勝山橋架橋
1920	9年	第1回国勢調査
1921	10年	小舟渡の舟橋に代って小舟渡橋が架けられる
1931	昭和6年	猪野瀬村を勝山町に編入
1932	7年	人絹織物業が盛んとなり、工場数69、工員3,000人、生産額1,300万円に達する
1933	8年	放火により成器女子校・町役場焼失、翌日尊光寺も焼失
1937	12年	勝山橋の木橋の一部が流失、鉄筋コンクリート橋に改修
1940	15年	下荒井橋は近代的な橋となる
1942	17年	私立勝山精華女学校設立
1946	21年	勝山病院開設
1948	23年	勝山高等学校開校 谷トンネル開通
1949	24年	勝山商工会創立
1950	25年	勝山中学校及び成器南小学校新築落成
1952	27年	下荒井橋竣工
1954	29年	1町8カ村合併し勝山市発足する（初代市長 山内継喜）
1957	32年	雁が原スキー場開設 財政再建団体の指定うく 勝山北部中学校開校する
1958	33年	新市庁舎落成
1959	34年	伊勢湾台風猛威ふるう 損害5億円
1961	36年	市消防本部、市消防署設置 第2室戸台風による被害2億円

西 曆	年 号	主 な 出 来 事
1962	昭和37年	白山国定公園が国立公園に昇格 市有林100万本植樹完了 電話自動化
1963	38年	100年来の豪雪におそわれる 被害10億円 勝山橋かけかえ工事完成 勝山総合病院完成 市上水道建設事業竣工 農業構造改善事業計画地域としての指定及び低開発地域工業開発地区の指定を受ける 市議会議員の選挙を大選挙区制決議
1964	39年	勝山新大用水完成 市制10周年記念行事実施 勝山都市計画正式に決まる
1965	40年	市農協誕生 市農業センター完成 緊急道路整備3カ年計画に着手 40.9 三大風水害当市をおそう 被害総額18億円
1966	41年	交通安全都市宣言及び青少年愛護都市宣言 福井～勝山線県道舗装完成 新住居表示実施 市営火葬場落成
1967	42年	勝山中部中学校普通校舎完成 市民会館落成
1968	43年	第23回国民体育大会 勝山市で4種目開催 財政再建団体の指定をうく
1969	44年	下荒井隧道・市荒川大橋完成
1970	45年	下荒井橋完成
1971	46年	雇用促進住宅、勤労者体育センター、老人センター完成 大野・勝山地区広域市町村計画決まる
1972	47年	国道157号線新谷トンネル開通
1973	48年	勝山市総合振興計画決まる
	1974 49年	勝山南部中学校開校（中学校統合計画完了） 京福電鉄越前本線勝山～大野間廃線 市制20周年記念行事実施
1975	50年	成器西小学校が旧勝山中学校跡へ移転 財政再建計画5年短縮して完了 勝山市名誉市民条例制定
1976	51年	教育福祉会館落成 名誉市民第1号多田清氏 多田育英基金設立 中央公園完成 市公共下水道事業着手
1977	52年	農村整備事業着手 市農協カントリーエレベーター完成（伊波）
1978	53年	市庭球場完成 市弓道場完成 勝山・上志比衛生センター完成
1979	54年	長山公園グラウンド夜間照明施設完成 北児童センター完成 一般国道157号（勝山国道）開通

西 曆	年 号	主 な 出 来 事
1980	昭和55年	東山いこいの森完成 市農協カントリーエレベーター完成（岡横江）
1981	56年	56豪雪におそわれる 国道416号昇格決まる 勝山市新総合振興基本構想の策定 浄化センターの着工 消防本部、消防署発足20周年記念行事実施 東縦貫線長山トンネル着工 商工会議所創立30周年記念行事 南児童センター完成
1982	57年	2市1村の連携による奥越青少年愛護センターを設置 越前大仏起工式 勝山北部中学校校舎改築 遅羽農村環境改善センター落成 西児童センター完成 村岡小学校校舎増改築 勤労婦人センター完成
1983	58年	B&G財団勝山海洋センター完成 林業者健康トレーニングセンター完成 勝山浄化センター定礎式 クリーンセンター起工式
1984	59年	市営住宅本町団地完成 南保育所完成 野向小学校校舎完成 長山トンネル開通 雁が原青少年旅行村開設 越前大仏門・中門・回廊起工式 市制30周年記念行事実施
1984	昭和59年	奥越地域地場産業振興センター起工式 大野・勝山広域農道起工式 国道416号バイパス伊波～滝波間開通 成器西小学校大規模改修
1985	60年	克雪センター完成 勝山浄化センター通水式 荒土小学校校舎完成

西 暦	年 号	主 な 出 来 事
1985	昭和60年	奥越地域地場産業振興センター竣工式 クリーンセンター火入れ式 奥越花卉集出荷場竣工式
1986	61年	温泉ボーリング調査起工式（村岡町浄土寺地係） 全市ごみ収集開始 農業共済事業奥越で広域化 国道157号谷トンネル付近で土石流発生 北郷児童センター落成 国が選ぶ水辺環境100選に「弁天緑地」 日本の道100選に「中宮平泉寺参道」 林道河合線完成 克雪センター除雪機械格納庫完成
1987	62年	特別養護老人ホーム「さくら荘」落成 越前大仏開眼 落慶法要 勝山市日中友好協会設立 村岡小学校第2体育館落成
1988	63年	勝山北部中学校体育館落成 さくら荘デイサービスセンター落成 鹿谷児童センター落成 市農協会館落成 北谷町で1億2千万年前の肉食恐竜の化石発見 広域基幹林道「法恩寺線」全線開通 勝山商工会館新築落成
1989	平成元年	勝山南高等学校開校式 (社)シルバー人材センター発足 一般廃棄物（不燃物）最終処分場「グリーンヒル上野」完成 「平泉寺坊院跡」発掘調査開始
1990	2年	第3次勝山市総合振興計画基本構想の策定 ニューメディアコミュニティパソコン実験ネット開局 勝山温泉センター「水芭蕉」落成 市農協カントリーエレベーター増設（伊波）
1991	3年	消防庁舎落成 勝山市立図書館落成 野向小学校屋内運動場改築 荒土小学校プール改築

西 暦	年 号	主 な 出 来 事
1992	平成4年	<p>勝山温泉センター「ふれあい会館」落成 白山国立公園昇格30周年記念事業実施 ふるさと森林館落成 法恩寺山・芳野原リゾート開発本格着工 蓬生坂トンネル開通 越前勝山城博物館落成 法恩寺有料道路開通</p>
1993	5年	<p>デイサービスセンター「九頭竜」落成 平泉寺保育所新築 勝山南大橋開通 老人保健施設「鷺巣苑」落成 成器南小学校屋内運動場改築 スキージャム勝山開業</p>
1994	6年	<p>市制40周年記念事業実施 米国アスペン市と友好都市提携調印 恐竜文化賞を創設、全国から児童文学作品などを募集 暴力追放市民総決起大会 「ゆとり創造宣言都市」に指定される チャマゴン号など恐竜電車で利用促進運動</p>
1995	7年	<p>市営南大橋住宅が完成 まちづくり景観条例を制定 阪神・淡路大震災被災地に救援物資を輸送 印鑑登録オンライン化</p>
1996	8年	<p>「京福電車存続対策勝山市民会議」を結成、存続運動が活発化 勝山橋本橋工事始まる 小松市、白峰村と災害相互応援協定締結 白山禅定道が「歴史の道百選」に選ばれる 子育て支援策の充実 県が県立恐竜博物館（仮称）を長尾山に建設決定 県立クレール射撃場オープン スキー入り込み客過去最高51万人 「恐竜文化賞」の絵本などを発刊</p>
1997	9年	<p>国史跡「白山平泉寺旧境内」拡大指定 あさひ公園完成 洛陽市交流10周年、越前大仏落慶10周年記念合同事業実施</p>

西 暦	年 号	主 な 出 来 事
1997	平成9年	北谷小学校廃校 長尾山総合公園事業着工 「桜つつみ」が建設省「手作り郷土賞」に選ばれる 雇用促進住宅「サン・コーポラス鹿谷」完成・入居開始 都市計画道路「元禄線」完成
1998	10年	県立恐竜博物館（仮称）着工 中部縦貫自動車道勝山で着工
1999	11年	集中豪雨による被害 「恐竜エキスポふくい2000」実行委員会発足 ふくい県民長寿祭 京福電車と地球を愛する会発足 かつやま子どもの村小学校開校 ロードパーキングで「恐竜街頭」開所

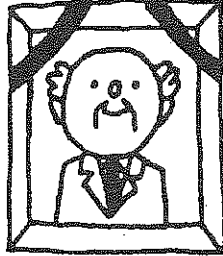
市民生活

出生



月 18.2 人

死亡



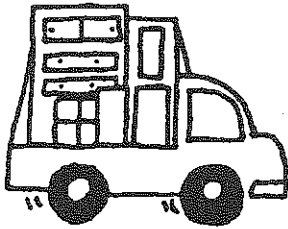
月 23.5 人

転入



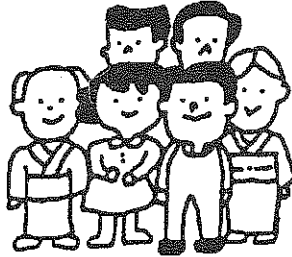
月 42.7 人

転出



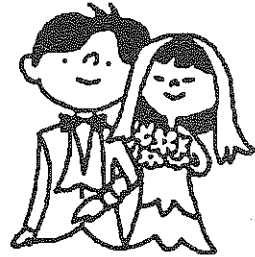
月 51.5 人

人口密度



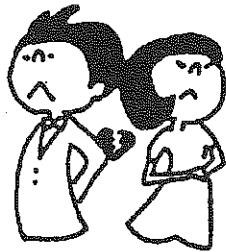
1 ㎥ 当り 115 人

結婚



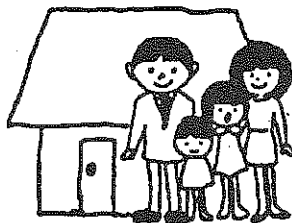
月 10.4 組

離婚



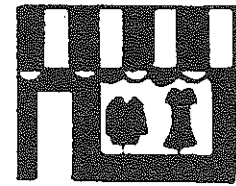
月 3.4 組

家族



1 世帯に 3.8 人

商店



15.7 世帯に 1 店

教員



小学生 13.5 人に 1 人
中学生 14.7 人に 1 人

市職員



市民 89.7 人に 1 人

消防職員



市民 788.7 人に 1 人

医 師



市民 595.1 人に 1 人

救急車出動



月 42.2 件

自家用自動車



1 世帯に 2.4 台

交通事故



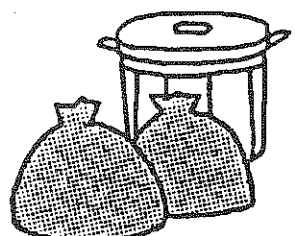
月 9.3 件

火 災




40.5 日に 1 件

ゴミの収集量




1 世帯 1 日当たり 2.5 kg

上 水 道



1 人 1 日当りの使用量
0.27 m³

下 水 道



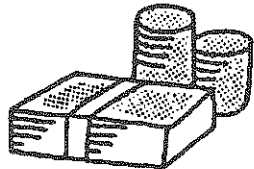
普及率 65.7 %

市 税

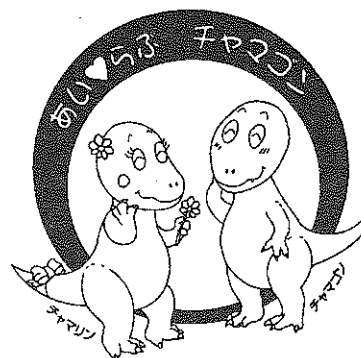


市民 1 人当たり 121,902 円

市の予算



市民 1 人当たり 740,236 円



気象

8. 気象の概況

平成10年

観測地点：勝山地域気象観測所（勝山市平泉寺町平泉寺86字岡道北9-1）

要素		月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年	
気	平均	日平均気温℃	1.5	3.2	6.2	14.5	18.6	20.2	24.4	24.9	22.7	17.3	9.1	5.4	14.0	
		同上準平年値℃	1.3	1.6	4.7	11.7	16.9	21.1	24.1	25.9	21.3	14.8	9.4	4.0	13.0	
		日最高气温℃	4.4	7.4	11.2	19.0	23.0	23.6	28.4	28.7	26.9	21.7	13.6	9.4	18.1	
	均	同上準平年値℃	4.5	5.3	9.6	17.7	22.7	26.1	28.8	31.1	26.4	20.5	14.6	8.1	17.9	
		日最低气温℃	-0.7	-0.4	1.7	10.3	14.1	17.0	21.0	21.9	19.5	13.7	4.6	2.1	10.4	
		同上準平年値℃	-1.9	-1.9	0.3	6.0	11.3	16.7	20.3	21.6	17.2	10.1	5.0	0.5	8.8	
温	極	最高气温℃	11.3	14.9	21.2	28.9	31.2	30.0	32.5	32.1	31.8	28.7	21.9	16.0	32.5	
		同上起日	3	20	30	20	23	26	*25	23	14	1	16	7	*7/25	
	値	最低气温℃	-4.6	-7.3	-3.5	0.1	9.5	10.1	17.4	17.7	16.0	8.2	-0.8	-1.7	-7.3	
		同上起日	25	11	16	4	4	1	14	22	5	26	29	27	2/11	
日	最高气温≥25℃	0	0	0	5	9	9	27	30	25	4	0	0	109		
	最低气温<0℃	23	17	9	0	0	0	0	0	0	0	2	6	57		
降	水	降水量合計 mm	237	99	117	216	284	202	255	533	231	236	195	99	2704	
		同上準平年値 mm	274.4	210.9	162.6	149.4	173.8	213.4	330.2	136.8	232.3	159.7	213.2	279.7	2555.6	
	量	最	日降水量 mm	32	22	35	62	85	79	92	98	68	71	44	12	98
			起日	15	20	27	14	12	28	10	14	22	17	20	*30	8/14
		日	≥1mm	20	14	15	14	15	16	13	16	12	16	15	17	183
			≥10mm	10	4	4	7	9	4	6	13	7	9	7	4	84
数	≥30mm	2	0	1	2	4	2	4	6	2	2	2	0	27		
	最	風速 m/s	9	12	11	10	11	9	8	6	13	15	9	8	15	
風	大	同上風向(16方位)	NW	WNW	SE	SE	SE	SE	SSE	SE	WNW	SE	NW	NW	SE	
		同上起日	19	8	19	*13	*16	3	*28	24	22	18	17	20	10/18	
	風速	最多風向	E	E	E	NNW	NNW	NNW	E	E	E	E	E	E	E	
		≥10m/sの日数	0	2	2	2	2	0	0	0	1	2	0	0	11	
日照	日照時間 h	54.2	113.7	163.5	123.9	146.7	58.7	71.9	72.3	98.2	109.2	106.6	91.7	1210.6		
	不照日数	10	5	4	9	8	16	6	9	6	10	3	5	91		
雪	最深積雪	cm	57	31	0	-	-	-	-	-	-	-	2	-	57	
		同上起日	27	1	16	-	-	-	-	-	-	-	21	-	27	
	積雪日数(≥0)	18	19	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	39		
	降雪の深さの合計	115	16	0	-	-	-	-	-	-	-	2	0	133		
	降雪の深さの最大値	31	12	0	-	-	-	-	-	-	-	2	0	31		

注) 日照時間は太陽電池式日照計による。準平年値は移設により統計断のため旧観測所(勝山市立川町2-2)の資料です。

降雪…当日9時~翌日9時観測。最深積雪…毎日9時観測で積雪の深さの最大値。
)は統計値に欠測を含むがその回数が統計期間の20%以下の場合、正常な値として同等に扱う。
 *は同一の極値が2個以上。日付は新しいものを採用。

<解説>
 前年12月から冬型の気圧配置が長続きせず、寒気の南下が北日本中心だったため、2年続きの暖冬・少雪となった。春の訪れは早く、また、春は記録的な高温であった。梅雨入りも早く、7月初めに夏らしい日があった他は、夏季全般に天気がぐずった。7月末頃から8月一杯、前線が北陸付近に概ね停滞し、嶺北地方を中心に大雨が頻発した。夏の気温は平年並みであったが、天候不順で北陸地方では梅雨明けの時期は特定できなかった。台風が発生数(16)は少なかったが、9月10日にかけ4個が上陸して県内も影響を受けた。秋は10月を中心に顕著な高温で、12月も北陸地方への寒気の南下が弱く、年間を通じて高温・曇りが目立った。

9. 過去の気象最高（低）記録

区 分	記 録	記 録 年 月 日	備 考 (期間)
最 高 気 温 (極)	37.8℃	昭和35年 8 月 2 日	大正元年 ~ 平成 8 年
最 低 気 温 (極)	-14.7℃	大正 2 年 2 月 12 日	大正元年 ~ 平成 8 年
日 最 大 降 水 量	232mm	昭和40年 9 月 14 日	明治32年 ~ 平成 8 年
最 深 積 雪	325cm	昭和38年 1 月 31 日	大正 2 年 ~ 平成 8 年
日 最 大 降 雪 深	100cm	昭和55年 12 月 28 日	大正 2 年 ~ 平成 8 年
日 最 大 風 速	16 m/s南南東	平成 3 年 9 月 27 日	昭和53年 ~ 平成 8 年

資料：福井地方気象台

10. 寒候期年別最深積雪

(単位：cm)

区 分	積 雪	起 日	区 分	積 雪	起 日
54年	55	1 月 16 日	平成元年	57	12 月 17 日
55年	165	2 月 17 日	2 年	80	1 月 26 日
56年	270	1 月 15 日	3 年	128	2 月 24 日
57年	51	2 月 10 日	4 年	45	1 月 24 日
58年	140	2 月 21 日	5 年	54	2 月 2 日
59年	165	2 月 10 日	6 年	69	1 月 24 日
60年	142	12 月 31 日	7 年	88	2 月 7 日
61年	158	1 月 12 日	8 年	115	2 月 4 日
62年	97	3 月 1 日	9 年	43	1 月 30 日
63年	76	2 月 10 日	10年	57	1 月 27 日

(注) 寒候期とは前年11月から翌年 4 月まで。

資料：福井地方気象台

11. 月別平均気温・降水量の準平年値

(単位：℃・cm)

区 分	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	年
平 均 気 温	1.3	1.6	4.7	11.7	16.9	21.1	24.1	25.9	21.3	14.8	9.4	4.0	13.0
最 高 気 温 平 均	4.5	5.3	9.6	17.7	22.7	26.1	28.8	31.1	26.4	20.5	14.6	8.1	17.9
最 低 気 温 平 均	-1.9	-1.9	0.3	6.0	11.3	16.7	20.3	21.6	17.2	10.1	5.0	0.5	8.8
降 水 量	274.4	210.9	162.6	149.4	173.8	213.4	330.2	136.8	232.3	159.7	213.2	279.7	2555.6

(注) 1. 平均気温は毎正時の24回平均。

2. 最高気温・最低気温は毎正時の値。

3. 統計期間は昭和54年から平成 2 年。

資料：福井地方気象台

世帯と人口

12. 世帯数と人口

各年10月1日現在（単位：人・戸・％）

区 分	世帯数	人 口				1世帯 当り人口	人口密度 (km ²)
		総 数	男	女	女百人に 対する男		
大 正 9 年 〔第1回国勢調査〕	5,862	28,852	13,923	14,929	93.3	4.9	113.7
14 年 〔第2回国勢調査〕	5,777	28,381	13,909	14,472	96.1	4.9	111.9
昭 和 5 年 〔第3回国勢調査〕	—	29,092	14,284	14,808	96.5	—	114.7
10 年 〔第4回国勢調査〕	—	31,945	15,658	16,287	96.1	—	125.9
15 年 〔第5回国勢調査〕	6,333	31,404	15,341	16,063	95.5	5.0	123.8
22 年 〔第6回国勢調査〕	—	37,485	17,622	19,863	88.7	—	147.8
25 年 〔第7回国勢調査〕	7,598	38,962	18,502	20,460	90.4	5.1	153.6
30 年 〔第8回国勢調査〕	7,452	37,556	17,727	19,829	89.4	5.0	148.0
35 年 〔第9回国勢調査〕	7,584	36,531	16,989	19,542	86.9	4.8	144.0
40 年 〔第10回国勢調査〕	7,473	34,828	16,248	18,580	87.4	4.7	137.3
45 年 〔第11回国勢調査〕	7,532	32,691	15,417	17,274	89.2	4.3	128.9
50 年 〔第12回国勢調査〕	7,652	31,025	14,929	16,096	92.7	4.1	122.3
55 年 〔第13回国勢調査〕	7,731	30,852	14,962	15,890	94.2	4.0	121.6
60 年 〔第14回国勢調査〕	7,718	30,416	14,715	15,701	93.7	3.9	119.9
平 成 2 年 〔第15回国勢調査〕	7,701	29,805	14,400	15,405	93.5	3.9	117.5
7 年 〔第16回国勢調査〕	7,733	29,162	14,033	15,129	92.8	3.8	115.0

資料：国勢調査

13. 地区別世帯数及び人口

平成7年10月1日現在 (単位：人・戸)

区 分	世 帯 数	人 口			1世帯当り 人 口
		総 数	男	女	
総 数	7,733	29,162	14,033	15,129	3.8
勝 山	3,556	12,069	5,777	6,292	3.4
猪 野 瀬	380	1,504	717	787	4.0
平 泉 寺	320	1,546	771	775	4.8
村 岡	1,267	4,773	2,312	2,461	3.8
北 谷	96	312	133	179	3.3
野 向	242	1,104	519	585	4.6
荒 土	522	2,325	1,112	1,213	4.5
北 郷	525	2,253	1,078	1,175	4.3
鹿 谷	586	2,286	1,129	1,157	3.9
遅 羽	239	990	485	505	4.1

資料：国勢調査

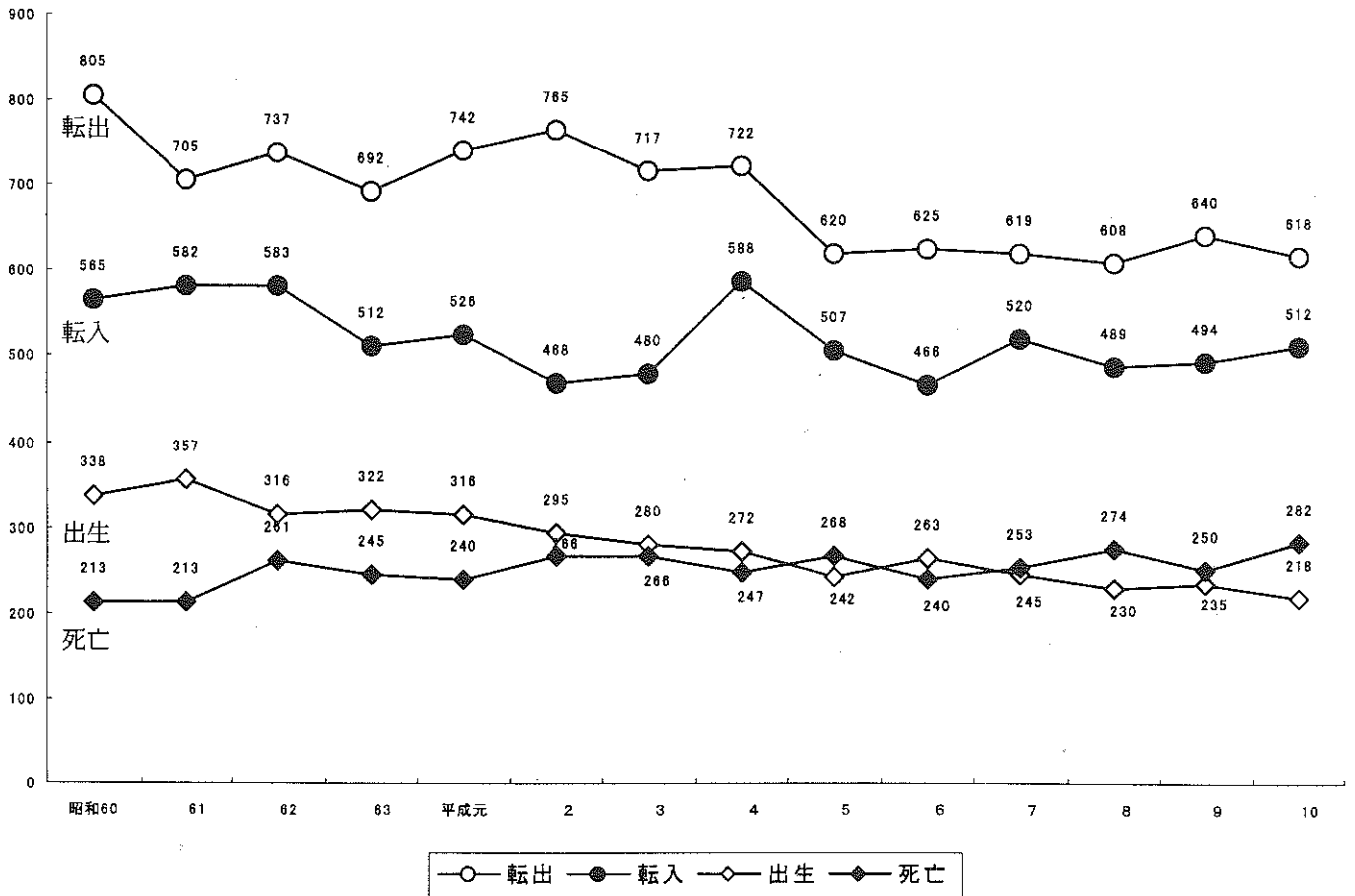
14. 人口動態 (過去10ヵ年)

(単位：人)

区 分	自 然 動 態			社 会 動 態			自然動態 と社会動 態の増減	婚 姻	離 婚
	出 生	死 亡	増 減	転 入	転 出	増 減			
昭和63年度	322	245	77	512	692	△180	△103	139	11
平成元年度	316	240	76	526	742	△216	△140	153	22
2年度	295	266	29	468	765	△297	△268	126	16
3年度	280	266	14	480	717	△237	△223	128	23
4年度	272	247	25	588	722	△134	△109	122	29
5年度	242	268	△26	507	620	△113	△139	139	20
6年度	263	240	23	466	625	△159	△136	125	18
7年度	245	253	△8	520	619	△99	△107	120	30
8年度	230	274	△44	489	608	△119	△163	121	35
9年度	235	250	△15	494	640	△146	△161	120	31
10年度	218	282	△64	512	618	△106	△170	125	41

資料：市民課

15. 人口動態の推移



16. 年齢別（5歳階級）人口

各年10月1日現在（単位：人）

区 分	昭 和 60 年			平 成 2 年			平 成 7 年		
	総 数	男	女	総 数	男	女	総 数	男	女
総 数	30,416	14,715	15,701	29,805	14,400	15,405	29,162	14,033	15,129
0～4才	1,851	956	895	1,615	832	783	1,316	715	601
5～9	2,116	1,074	1,042	1,874	969	905	1,673	868	805
10～14	2,424	1,260	1,164	2,107	1,071	1,036	1,852	968	884
15～19	1,744	871	873	1,990	1,048	942	1,768	886	882
20～24	1,447	671	776	1,215	532	683	1,507	741	766
25～29	1,743	888	855	1,513	740	773	1,350	620	730
30～34	2,224	1,134	1,090	1,738	862	876	1,486	716	770
35～39	2,372	1,255	1,117	2,199	1,115	1,084	1,743	853	890
40～44	1,821	909	912	2,332	1,223	1,109	2,184	1,105	1,079
45～49	1,898	904	994	1,816	911	905	2,318	1,223	1,095
50～54	2,235	1,076	1,159	1,860	883	977	1,789	897	892
55～59	2,380	1,156	1,224	2,168	1,045	1,123	1,803	845	958
60～64	1,843	774	1,069	2,292	1,092	1,200	2,068	983	1,085
65～69	1,443	625	818	1,755	734	1,021	2,188	1,027	1,161
70～74	1,234	508	726	1,291	547	744	1,628	655	973
75～79	892	384	508	1,041	409	632	1,156	468	688
80～84	483	182	301	632	259	373	818	286	532
85～89	203	71	132	258	91	167	378	133	245
90才以上	63	17	46	109	37	72	137	44	93
65才以上人口	4,318	1,787	2,531	5,086	2,077	3,009	6,305	2,613	3,692
割 合	14.2%	12.1%	16.1%	17.1%	14.4%	19.5%	21.6%	18.6%	24.4%

平成7.10.1現在県下7市の65才以上人口の割合、福井市15.8%・敦賀市15.5%・武生市17.3%・小浜市20.7%・大野市20.7%・椿江市16.2%・勝山市は21.6%で、勝山市が一番高齢化が進んでいる。

資料：国勢調査

17. 産業分類別・従業上の地位別就業者

各年10月1日現在（単位：人）

区 分	平成2年	平成7年					
		総 数	雇用者	役 員	雇 人 の ある業主	雇 人 の ない業主	家 族 従 業 者
総 数	16,417	16,258	11,395	719	416	2,024	1,704
第 1 次 産 業	1,849	1,684	52	2	6	888	736
農 業	1,809	1,650	27	—	5	885	733
林業・狩猟業	39	33	24	2	1	3	3
漁 業	1	1	1	—	—	—	—
第 2 次 産 業	7,596	7,288	5,823	425	193	441	406
鉱 業	21	40	37	3	—	—	—
建 設 業	1,800	1,864	1,334	175	94	168	93
製 造 業	5,775	5,384	4,452	247	99	273	313
第 3 次 産 業	6,969	7,283	5,517	292	217	695	562
卸売・小売業	2,454	2,537	1,433	167	141	392	404
金融・保険業	319	299	280	9	2	3	5
不 動 産 業	21	31	24	4	—	2	1
運 輸 ・ 通 信 業	658	645	593	21	2	25	4
電気・ガス・水道業	91	86	86	—	—	—	—
サ ー ビ ス 業	2,992	3,231	2,647	91	72	273	148
公 務	434	454	454	—	—	—	—
分類不能の産業	3	3	3	—	—	—	—

産業分類別、就業者数では第2次産業、第3次産業がそれぞれ44.8%を占め、第1次産業では10.4%となっている。

資料：国勢調査

18. 人口集中地区【DID】

各年10月1日現在（単位：人・km²）

区 分	人 口	面 積	人口密度（1 km ² あたり）
昭 和 50 年	13,337	2.5	5,335
55 年	12,820	2.4	5,342
60 年	12,326	2.6	4,741
平 成 2 年	12,793	2.9	4,411
7 年	12,381	2.8	4,360

資料：国勢調査

19. 通勤・通学別流出口【15歳以上】

平成7年10月1日現在(単位:人)

区 分	勝山市から他市町村へ		
	総 数	就 業 者	通 学
〔A〕 県内他市町村への通勤・通学者	3,914	3,503	411
福 井 市	2,177	1,930	247
敦 賀 市	11	11	—
武 生 市	43	25	18
大 野 市	944	845	99
楮 江 市	46	40	6
美 山 町	11	11	—
松 岡 町	152	119	33
永 平 寺 町	99	99	—
上 志 比 村	113	113	—
その他の市町村へ	318	310	8
〔B〕 県外への通勤・通学者	108	88	20
石 川 県 へ	103	83	20
その他の都道府県へ	5	5	—
合 計〔A+B〕	4,022	3,591	431

勝山市の就業者16,258人(No.72産業別就業人口)のうち22.1%が他市町村へ就業している。

資料:国勢調査

20. 通勤・通学別流入人口【15歳以上】

平成7年10月1日現在(単位:人)

区 分	他市町村から勝山市へ		
	総 数	就 業 者	通 学
〔A〕 県内他市町村より通勤・通学者	1,820	1,638	182
福 井 市	238	237	1
武 生 市	12	12	—
大 野 市	1,189	1,067	122
楮 江 市	12	12	—
美 山 町	17	16	1
松 岡 町	36	35	1
その他の市町村より	316	259	57
〔B〕 県外通勤・通学者	36	35	1
合 計〔A+B〕	1,856	1,673	183

資料:国勢調査

21. 昼間人口

各年10月1日現在(単位:人)

区 分	常住人口	流 入 人 口			流 出 人 口			昼間人口
		総 数	就業者	通学者	総 数	就業者	通学者	
昭和50年	31,025	944	739	205	2,757	2,259	498	29,212
55年	30,852	1,241	975	266	2,971	2,659	312	29,122
60年	30,416	1,429	1,178	251	3,339	3,077	262	28,506
平成2年	29,805	1,671	1,427	244	3,703	3,399	304	27,773
7年	29,162	1,856	1,673	183	4,022	3,591	431	26,996

流入人口、流出口共に年々伸びてきているが、昼間人口は減少してきている。

資料:国勢調査

行政

22. 歴代市長

区 分	氏 名	就 任 年 月 日	退 任 年 月 日
1	山 内 継 喜	昭和29. 10. 15	昭和33. 10. 14
2	〃	昭和33. 10. 15	昭和37. 10. 14
3	山 内 讓	昭和37. 10. 15	昭和41. 10. 14
4	〃	昭和41. 10. 15	昭和45. 10. 14
5	高 野 春 三	昭和45. 10. 15	昭和49. 10. 14
6	〃	昭和49. 10. 15	昭和51. 11. 17
7	池 田 勤 也	昭和51. 12. 26	昭和55. 12. 25
8	〃	昭和55. 12. 26	昭和59. 12. 25
9	〃	昭和59. 12. 26	昭和63. 12. 25
10	今 井 三右衛門	昭和63. 12. 26	平成 4. 12. 25
11	〃	平成 4. 12. 26	平成 8. 12. 25
12	〃	平成 8. 12. 26	現 在

資料：秘書広報課

23. 歴代助役

区 分	氏 名	就 任 年 月 日	退 任 年 月 日
1	光 明 正 道	昭和30. 11. 8	昭和34. 11. 7
2	〃	昭和34. 11. 8	昭和37. 10. 13
3	皿 澤 徳 志	昭和39. 3. 28	昭和43. 3. 27
4	〃	昭和43. 3. 28	昭和47. 3. 27
5	池 田 勤 也	昭和47. 6. 24	昭和51. 6. 23
6	〃	昭和51. 6. 24	昭和51. 12. 16
7	鳥 山 忠 昌	昭和52. 1. 24	昭和56. 1. 23
8	〃	昭和56. 1. 24	昭和60. 1. 23
9	〃	昭和60. 1. 26	平成元. 1. 25
10	山 本 隆 治	平成元. 4. 1	平成 5. 3. 31
11	島 田 英 博	平成 6. 4. 1	平成10. 3. 31
12	〃	平成10. 4. 1	現 在

資料：秘書広報課

24. 歴代収入役

区 分	氏 名	就 任 年 月 日	退 任 年 月 日
1	豊 島 和 助	昭和30. 1. 1	昭和33. 12. 31
2	〃	昭和34. 1. 1	昭和37. 12. 31
3	梅 田 薫	昭和38. 4. 10	昭和42. 4. 9
4	〃	昭和42. 4. 10	昭和46. 4. 9
5	笠 川 馨	昭和46. 4. 10	昭和50. 4. 9
6	〃	昭和50. 4. 10	昭和54. 4. 9
7	〃	昭和54. 4. 10	昭和58. 4. 9
8	竹 内 仁	昭和58. 10. 1	昭和62. 9. 30
9	〃	昭和62. 10. 1	平成 3. 9. 30
10	諏 訪 芳 郎	平成 3. 10. 1	平成 7. 9. 30
11	松 山 保 雄	平成 7. 10. 1	平成11. 9. 30
12	〃	平成11. 10. 1	現 在

資料：秘書広報課

25. 市職員数

平成11年 4月 1日現在 (単位：人)

区 分	職 員 数			一般行政職員		技能労務職員	
	計	男	女	男	女	男	女
総 数	362	209	153	191	115	18	38
市長の事務部局	238	138	100	125	91	13	9
議会の事務部局	4	3	1	3	1	—	—
監査委員の事務部局	2	1	1	1	1	—	—
教育委員会の事務部局	81	30	51	25	22	5	29
消防長の事務部局	37	37	—	—	—	—	—

資料：秘書広報課

26. 最近の選挙投票状況

区 分	種 別	当日有権者数(人)		
		計	男	女
昭和54. 4. 8	福井県知事・県議会議員選挙	22,461	10,706	11,755
54. 8. 5	勝山市議会議員選挙	22,447	10,732	11,715
54. 10. 7	衆議院議員総選挙	22,546	10,782	11,764
55. 6. 22	衆議院議員総選挙・参議院議員通常選挙	22,610	10,825	11,785
55. 11. 30	勝山市長選挙	22,506	10,774	11,732
58. 4. 10	福井県知事・県議会議員選挙	22,561	10,784	11,777
58. 6. 26	参議院議員通常選挙	22,655	10,821	11,834
58. 8. 7	勝山市議会議員選挙	22,561	10,780	11,781
58. 12. 18	衆議院議員総選挙	22,694	10,839	11,855
59. 11. 25	勝山市長選挙	22,581	10,794	11,787
61. 7. 6	衆議院議員総選挙・参議院議員通常選挙	22,696	10,819	11,877
62. 4. 12	福井県知事・県議会議員選挙	22,677	10,786	11,891
62. 8. 2	勝山市議会議員選挙	22,594	10,737	11,857
63. 11. 27	勝山市長・市議会議員補欠選挙	22,626	10,758	11,868
平成元. 7. 23	参議院議員通常選挙	22,779	10,826	11,953
2. 2. 18	衆議院議員総選挙	22,707	10,784	11,923
3. 4. 7	福井県知事・県議会議員選挙	22,599	10,721	11,878
3. 8. 4	勝山市議会議員選挙	22,538	10,693	11,845
4. 7. 26	参議院議員通常選挙	22,603	10,730	11,873
4. 11. 29	勝山市長選挙	22,553	10,704	11,849
5. 7. 18	衆議院議員総選挙	22,710	10,756	11,954
7. 4. 9	福井県知事・県議会議員選挙	22,660	10,746	11,914
7. 7. 23	参議院議員通常選挙	22,852	10,841	12,011
7. 8. 6	勝山市議会議員選挙	22,744	10,797	11,947
8. 10. 20	衆議院議員総選挙	22,894	10,856	12,038
8. 12. 1	勝山市長選挙	無 投 票		
10. 7. 12	参議院議員通常選挙	22,941	10,884	12,057
11. 4. 11	福井県知事選挙	22,705	10,753	11,952
11. 4. 11	福井県議会議員選挙	無 投 票		
11. 8. 1	勝山市議会議員選挙	22,824	10,808	12,016

27. 地区別基本選挙人名簿登録者数

平成11年6月2日現在(単位:人)

区 分	総 計	勝 山	猪野瀬	平泉寺	村 岡	北 谷	野 向	荒 土	北 郷	鹿 谷	遅 羽	
登録者数	計	22,947	9,166	1,640	1,108	3,728	256	769	1,785	1,762	1,906	827
	男	10,867	4,319	774	536	1,787	104	363	845	831	914	394
	女	12,080	4,847	866	572	1,941	152	406	940	931	992	433

※猪野瀬には岡横江を含む。

資料:選挙管理委員会

(単位：人・%)

	投票者数 (人)			投票率 (%)		
	計	男	女	計	男	女
知事	16,585	7,962	8,623	73.84	74.37	73.36
県議	16,583	7,962	8,621	73.83	74.37	73.34
	20,733	9,825	10,908	92.36	91.55	93.11
	18,255	8,705	9,550	80.97	80.74	81.18
衆議院	19,946	9,570	10,376	88.22	88.41	88.04
参議院	19,944	9,569	10,375	88.21	88.40	88.04
	13,208	6,286	6,922	58.69	58.34	59.00
	16,433	7,926	8,507	72.84	73.50	72.23
	16,246	7,820	8,426	71.71	72.27	71.20
	20,809	9,865	10,944	92.23	91.51	92.90
	18,604	8,925	9,679	81.98	82.34	81.64
	20,377	9,620	10,757	90.24	89.12	91.26
衆議院	19,258	9,210	10,048	84.85	85.13	84.60
参議院	19,251	9,208	10,043	84.82	85.11	84.56
知事	19,285	9,121	10,164	85.04	84.56	85.48
県議	19,287	9,121	10,166	85.05	84.56	85.49
	20,941	9,862	11,079	92.68	91.85	93.44
市長	16,724	7,916	8,808	73.91	73.58	74.22
市議補	16,715	7,908	8,807	73.88	73.51	74.21
	18,545	8,879	9,666	81.41	82.02	80.87
	19,551	9,224	10,327	86.10	85.53	86.61
知事	9,225	4,374	4,851	40.82	40.80	40.84
	20,707	9,673	11,034	91.88	90.46	93.15
	14,834	7,182	7,652	65.63	66.93	64.45
	15,308	7,172	8,136	67.88	67.00	68.66
	18,090	8,558	9,532	79.66	79.56	79.74
	18,475	8,637	9,838	81.53	80.37	82.58
	17,094	8,062	9,032	74.80	74.37	75.20
	20,217	9,469	10,748	88.89	87.70	89.96
	16,523	7,844	8,679	72.17	72.25	72.10
	15,648	7,513	8,135	68.21	69.03	67.47
	15,593	7,310	8,283	68.68	67.98	69.30
	19,169	8,882	10,287	83.99	82.18	85.61

資料：選挙管理委員会

28. 議会活動状況

資料：議会事務局
平成10年1月～12月

■ 本会議の状況

区 分	回 数	会 期 日 数	本 会 議 日 数
定 例 会	4	63	17
臨 時 会	1	1	1

■ 委員会等の状況

区 分	常 任 委 員 会				特 別 委 員 会									全 員 協 議 会
	総 務 文 教 委 員 会	建 設 企 業 委 員 会	産 業 福 祉 委 員 会	議 会 運 営 委 員 会	決 算	全 員 審 査	下 水 道	地 域 産 業 振 興 対 策	道 路 交 通 策	法 恩 寺 山 リゾ ー ト 開 発 推 進	京 越 前 本 線 電 鉄	存 続 対 策	環 境 対 策	
平成6年	—	—	—	10	8	12	4	4	4	1	4	—	—	11
7年	5	8	4	13	13	9	4	4	4	—	20	—	—	10
8年	5	5	6	9	9	8	4	4	4	—	20	—	—	12
9年	8	6	5	9	8	10	2	2	3	—	4	1	1	8
10年	6	8	6	10	8	11	—	—	4	—	4	4	7	7

(注) 法恩寺山リゾート開発推進特別委員会は平成6年3月で廃止
平成7年9月から三委員会制度となる
下水道特別委員会は平成9年9月で廃止
地域産業振興対策特別委員会は平成9年9月で廃止

■ 付議事件の処理状況

区 分	件 数	可 決 (同 意)	否 決	修 正 議 決	認 定	承 認	継 続 審 査	審 議 未 了	撤 回
市 長 提 出	条 例 案	18	18						
	予 算 案	35	35						
	決 算 案	2				2			
	契 約	2	2						
	同 意 案	6	6						
	専 決 承 認 案	7				7			
	諮 問	3	3						
議 員 提 出	そ の 他	16	16						
	条 例 案	—							
	会 議 規 則 案	—							
	意 見 書 案	6	6						
選 推 決	決 議 案	1	1						
	選 挙	1	1						
	推 せ ん	—							
	常 任 委 員 改 選	—							
決 定	—								

29. 請願陳情処理状況

区 分	審 議 結 果						
	件 数	採 択	不 採 択	審 議 未 了	撤 回	継 続 審 議	
平成6年	41	28	2	6	2	3	
7年	31	21	1	8	—	1	
8年	35	25	3	3	—	4	
9年	57	24	4	8	—	21	
10年	35	11	3	8	—	13	

資料：議会事務局

30. 歴代の市議会議長と副議長

議 長			副 議 長		
順 位	氏 名	就任年月日	順 位	氏 名	就任年月日
1	山 岸 太之助	昭和29. 9. 13	1	沢田治郎右衛門	昭和29. 9. 13
2	”	昭和30. 9. 2	2	前 川 俣 吉	30. 9. 2
3	中 村 精	34. 4. 9	3	松 山 吉 一	34. 9. 1
4	”	34. 9. 1	4	田 中 奥兵衛	35. 9. 6
5	平 井 彦五郎	35. 9. 6	5	小 林 清 栄	38. 9. 2
6	松 井 伝兵衛	38. 9. 2	6	島 田 實	39. 12. 4
7	田 中 奥兵衛	39. 12. 4	7	埴山 長右衛門	41. 1. 19
8	河 合 捨 治	41. 1. 19	8	四 谷 与 一	42. 3. 18
9	松 井 伝兵衛	42. 3. 18	9	島 田 慶 雄	42. 9. 4
10	四 谷 与 一	42. 9. 4	10	小 林 廣	44. 12. 15
11	石 田 巳代治	46. 9. 2	11	石 倉 清 治	46. 9. 2
12	島 田 實 也	50. 9. 4	12	今井 三右衛門	48. 9. 29
13	今井 三右衛門	54. 9. 7	13	西 出 巖	50. 9. 4
14	西 出 巖	58. 9. 5	14	武 内 盛 直	54. 9. 7
15	水 上 晟	60. 9. 20	15	水 上 晟	58. 9. 5
16	西 出 巖	62. 9. 10	16	横 山 定 衛	60. 9. 20
17	武 内 盛 直	平成元. 12. 19	17	畔 川 利 通	61. 12. 22
18	廣田 与三次郎	3. 9. 4	18	川 村 音 一	62. 9. 10
19	乾 吉 一	5. 12. 17	19	辻 一 敏	平成3. 9. 4
20	佐々木 隆 也	7. 1. 17	20	近 藤 栄 治	5. 12. 17
21	辻 一 敏	7. 9. 5	21	北 山 謙 治	7. 9. 5
22	近 藤 栄 治	9. 9. 12	22	藤澤 七郎兵衛	9. 9. 12
23	北 山 謙 治	11. 9. 10	23	松 井 拓 夫	11. 9. 10

資料：議会事務局

31. 市議会議員

平成11年9月現在

議席番号	氏 名	所属常任委員会	議席番号	氏 名	所属常任委員会
1	井 上 馨	総文教務	11	藤澤 七郎兵衛	建設企業
2	清 水 清 蔵	○産業福祉	12	岩 見 寿 信	総務文教
3	笠 松 捷多朗	○総務文教	13	北 山 謙 治	総務文教
4	村 田 与右エ門	○建設企業	14	野 尻 佐太郎	建設企業
5	山 田 安 信	産業福祉	15	嶋 田 政 憲	建設企業
6	手 塚 貞 臣	◎産業福祉	16	佐々木 隆 也	産業福祉
7	安 居 久 繁	産業福祉	17	近 藤 栄 治	総務文教
8	小 林 喜 仁	◎総務文教	18	乾 吉 一	建設企業
9	椿 山 弘	◎建設企業	19	廣 田 与三次郎	産業福祉
10	松 井 拓 夫	産業福祉	20	武 内 盛 直	建設企業

(注) ◎印：委員長 ○印：副委員長

資料：議会事務局